

家計調査からみる京都市民のすがた（食料編） — 京都市民の好きな食べ物は？ —

総務省統計局が発表した「家計調査（二人以上の世帯） 都道府県庁所在市別ランキング（平成 18～20 年平均）」や、家計調査の調査結果をもとに、京都市民の食料に関する消費の特徴を探ってみます。  
 家計調査の調査結果は、総務省統計局のホームページ (<http://www.stat.go.jp/data/kakei/>) において閲覧可能です。

○京都市民の好きな食べ物は？

まず、平成 18 年から 20 年までの平均データをもとに、都道府県庁所在地に川崎市と北九州市を加えた 49 市の中での京都市の状況を見ます。

京都市が購入金額で全国 1 位となった品目は、「穀類」、「パン」、「他のパン(注1)」、「ねぎ」、「たけのこ」、「ピーマン」、「他の野菜・海藻加工品(注2)」、「他の野菜の漬物(注3)」となっています。一方、京都市が最下位となった品目はありませんでしたが、下位 5 位までに入った品目には、「スパゲッティ（49 市中 46 位、下から 4 番目）」、「粉ミルク（同 48 位、下から 2 番目）」、「わかめ（同 45 位、下から 5 番目）」がありました。

(注1) パンのうち、基本的な原材料以外の材料を加え、初めから一つに成形されたパン。あんパンやカレーパンなど。

(注2) 野菜、豆類、海藻を主成分として工業的加工を施したもの。こんにゃく、梅干し、漬物、こんぶつくだ煮など。

(注3) 「梅干し」、「だいこん漬」、「はくさい漬」を除く野菜の漬物。奈良漬、福神漬、らっきょう、ピクルスなど。

○京都市民はパンが好き？

次に、京都市が購入金額で 1 位となった「穀類」について、詳しくみていきましょう。

・パン

「京都市民はパンが好き（購入金額が多い）」と新聞やテレビなどで見聞きされた方も多いと思います。実際、図-1 のとおり、近年は常に神戸市やさいたま市とトップ争いを繰り広げています。また、近畿の他の市にも目を向けますと、和歌山市を除く 5 市は、同じ期間、ほぼ 10 位以内をキープしています。もしかすると、パンが好きなのは、京都市だけの特徴ではなく、近畿全体の傾向なのかもしれません。

・めん類

同じ洋風の炭水化物なのに、京都市では購入金額で 46 位（下から 4 番目）になった「スパゲッティ」。近畿の他の市でも、図-2 のとおり、大津市を除き、最近は人気がありません。一方、パンでは京都市と似た傾向を示したさいたま市は、京都市とは違い、スパゲッティではトップの常連となっています。

ちなみに、京都市におけるスパゲッティ以外のめん類をみると、順位では「生うどん・そば（5 位）」を除き、「中華めん（25 位）」、「他のめん類(注4)（28 位）」、「即席めん（31 位）」、「乾うどん・そば（35 位）」、「カップめん(35 位)」と、いずれも中位から下位となっています。また、購入金額自体も、「生うどん・そば」を除き、全国平均を下回っています。

(注4) めん類のうち、他の項目に含まれないもの。ワンタンの皮、ギョーザの皮、ビーフンなど。

・米 vs パン vs めん類

京都市における 1 年間の支出額は、パン（35,416 円）>米>（33,957 円）>めん類（16,468 円）の順となっています。49 市について、パンとめん類を比較すると、京都市ではパンへの支出額がめん類の 2.2 倍で、同じくパン好きの神戸市（2.1 倍）と並び、49 市の中で 2 市のみ、2 倍を超えています。

図-1 パンの購入金額ランキングの推移

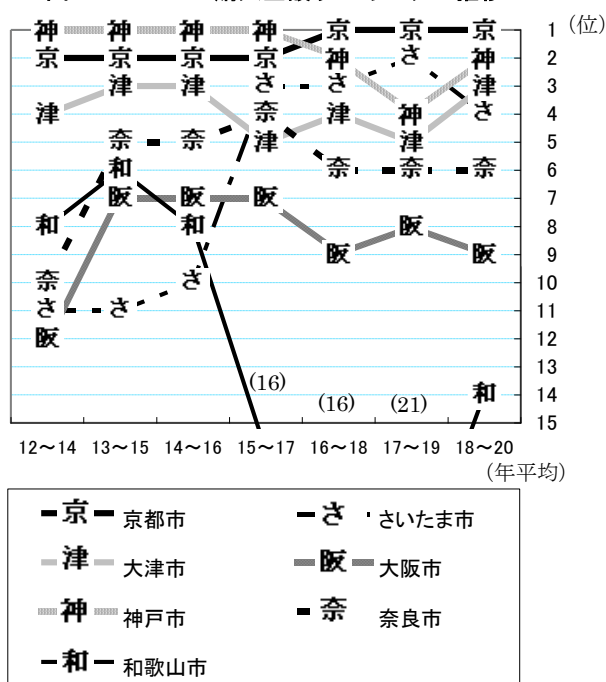


図-2 スパゲッティの購入金額ランキングの推移

